



通信

HP 学校だより
R5. 6. 22
NO. 12
文責 伊藤美佳



思い通りにならないこと

ここ最近、多くの子が飼育ケースを持って登下校しています。飼育ケースの中には、トカゲ、カエル、ザリガニ、ダンゴムシ、カブトムシ、クワガタ・・・。多彩な生き物が飼育されています。休み時間になると、網を持った子どもたちが法面やビオトープに集います。何をとっているかといえば、トカゲの餌のバッタだったり、トカゲそのものだったり、聞けば丁寧に説明してくれます。飼育していてすぐに飽きてしまうのかと思いきや、ちゃんと卵を産ませてふ化させ、次世代を育てている子もいます。命のサイクルをしっかりと学んでいることに感動すら覚えます。

低学年下校のとき、飼育ケースをもった子が「トカゲの卵が3つあったんだけど、1つはダメになっちゃった。でも他は生まれたよ。」と教えてくれました。なぜその1つがダメになってしまったのか、一緒に考えました。乾燥しすぎたのかな、何かにぶつかってわれちゃったのかな、卵のあった場所が悪かったのかな・・・。いろいろな考えが浮かびます。もちろんダメになった卵はもとはもどりません。自然の中では、人間もその1つ。人間の思い通りになることばかりではありません。でも、思い通りにならないことがあることを学ぶのも大切なことです。生き物たちからそのことを学ぶことに感謝です。

別の日に、トカゲを捕まえたくても捕まえられなかった子がいました。とても悲しくなっているその子に、別の子が「そういうこともあるよ。また、後で捕まえよう。」と言っていました。思い通りにならないことがあることを学び、気持ちの切り替えやどうしたらできるようになるのかを考え、行動することが習慣づけられたとしたら、きっと未来を自分の手で切り拓くことのできる人に成長できることでしょう。

子どもたちが、自分たちの手で学びを獲得できるように、周囲の大人は見守っていきたいものです。転ばぬ先の杖は、転んだ子どもの起き上がる力を奪ってしまいます。

豊坂小ならではの 「あいさつ」

先週から代表委員会の子どもたちの呼びかけで、豊坂小学校に在籍する外国籍の子たちのお国言葉であいさつをしています。先週は英語、今週は中国語とスペイン語・・・とあいさつが変わります。見守り隊の皆さんにもお伝えして、一緒にあいさつしてください。「あいさつ」は人と人をつなげる大切なものです。楽しんであいさつできるように代表委員会の子どもたちが考えてくれました。お家でもぜひ豊坂小ならではの「あいさつ」を楽しんでいただけるとうれしいです。

(おはよう)

(こんにちは)

6月22日、23日 スペイン語

ブエノスディアス

オラ

6月26日～30日 ポルトガル語

ボンジーア

ボアタルジ

7月 3日～ 7日 インドネシア語

サラマッパギ

サラマシアン

7月10日～14日 ネパール語

ナマステ

ナマステ

7月18日～21日 フィリピン語

マガンダンウマガ

マガンダンハポン

